

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 (14-1)

団体名	特定非営利活動法人 健康・生きがい就労ラボ	代表者名	(職名) (氏名) 理事長 遠座 俊明
事業名	高齢者向け生活に役立つスマホ操作技術普及事業		

< 事業実施実績 >

年月日 定例は「月1回」「毎 ○曜日」等で記入	場所	参加者 一般(スタッ フ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
			1. シニア向けスマホ講座の教材整備(標準化)
2023年8月6日	ここおる	4名 ()	過去2年間に作成してきた教材のパワーポイントを確認して削除、修正箇所を決めて修正した。(第1章:スマホとは~第3章:電話) 担当:大林、山本、山口、橋之爪(10:30-16:30)
2023年8月13日	ここおる	4名 ()	過去2年間に作成してきた教材のパワーポイントを確認して削除、修正箇所を決めて修正した。(第4章:カメラと写真~第5章:LINE) 担当:大林、山本、山口、井川(10:30-16:30)
2023年8月20日	ここおる	5名 ()	過去2年間に作成してきた教材のパワーポイントを確認して削除、修正箇所を決めて修正した。(第5章:LINE) 担当:遠座、大林、山本、山口、井川(10:30-16:30)
2023年9月3日	ここおる	5名 ()	過去2年間に作成してきた教材のパワーポイントを確認して削除、修正箇所を決めて修正した。(第6章:様々なアプリ~第7章:検索) 担当:遠座、大林、山本、井川、山口(10:30-16:30)
2023年9月10日	ここおる	5名 ()	過去2年間に作成してきた教材のパワーポイントを確認して削除、修正箇所を決めて修正した。(第8章:チューターの使命と目標、まとめ) 担当:遠座、大林、山本、井川、山口(13:30-16:30)
2023年12月21日	フレミラ宝塚	6名 ()	スマホ・サポーター養成講座の最終日に使用するスキルチェックアンケート内容について連携・協働先(大阪大学)の程氏と打ち合わせした。担当:程、大林、井川、山本、大林千雪、山口(15:00-17:00)
			2. スマホ・サポーター養成講座
2024年1月15日	川西市キセラ川西プラザ福祉棟2階	14名 (8名)	スマホ・サポーター養成講座(スマホ・サポーターのススメ、基本操作、基本設定、検索など) 講師:大林(資料別紙参照)(13:30-15:30)受講申し込み者(15名) を4つのグループに分けて実施。それぞれのグループに1-2名のスタッフがチューターとして対応した。(1人欠席)

2024年1月20日	伊丹市立中央公民館	17名 (8名)	スマホ・サポーター養成講座(スマホ・サポーターのススメ、基本操作、基本設定、検索など) 講師：大林(資料別紙参照)(9:30-11:30)受講申し込み者(18名) を4つのグループに分けて実施。それぞれのグループに1-2名のスタッフがチューターとして対応した。(1名欠席)
2024年1月22日	川西市キセラ川西プラザ福祉棟3階	14名 (8名)	スマホ・サポーター養成講座(カメラ関係、Googleレンズで遊ぼう!、便利なアプリ(MAP、乗換案内)など) 講師：大林(資料別紙参照)(13:30-15:30)受講申し込み者(15名) を4つのグループに分けて実施。それぞれのグループに1-2名のスタッフがチューターとして対応した。(1人欠席)
2024年1月27日	伊丹市立中央公民館	16名 (8名)	スマホ・サポーター養成講座(カメラ関係、Googleレンズで遊ぼう!、便利なアプリ(MAP、乗換案内)など) 講師：大林(資料別紙参照)(9:30-11:30)受講申し込み者(18名) を4つのグループに分けて実施。それぞれのグループに1-2名のスタッフがチューターとして対応した。(2人欠席)
2024年1月29日	川西市キセラ川西プラザ福祉棟3階	13名 (8名)	スマホ・サポーター養成講座(LINE(友だち追加、無料スタンプの入手、写真の送信、音声入力)など) 講師：大林(資料別紙参照)(13:30-15:30)受講申し込み者(15名) を4つのグループに分けて実施。それぞれのグループに1-2名のスタッフがチューターとして対応した。(2人欠席)
2024年2月10日	伊丹市立中央公民館	18名 (8名)	スマホ・サポーター養成講座(LINE(友だち追加、無料スタンプの入手、写真の送信、音声入力)など) 講師：大林(資料別紙参照)(9:30-11:30)受講申し込み者(18名) を4つのグループに分けて実施。それぞれのグループに1-2名のスタッフがチューターとして対応した。(0人欠席)

<効果と成果>

- * 当NPOは独自の体制「講師+チューター」で高齢者に適したスマホ講座を自治体と連携して進めてきた。また、チューターが活動できる場を少しでも増やすため、講座形式だけでなく「困った時の駆け込み寺」のような気軽に相談できる場所を設置して活躍の場の拡大を進めている。
- * 当NPOのスマホ講座の講師・チューターの24名がデジタル推進員としてデジタル庁から任命され活動しているが、日々の技術革新やバージョン変更などの情報共有する場を設けて各自のキャリアアップを図ることと講師の増員をして体制強化を進めている。また、シニア向け機種に特化したスマホ講座やSNS対応などの新たな講座をすることも検討している。

< 今後の展望 >

* シニア向けスマホ講座の教材整備（標準化）

標準化されたスマホ講座の教材は、第1～第10章の区分で41編のパワーポイントデータをクラウド上で管理している。講師はいつでも・どこでも必要部分を取り出し細部の確認を行い表紙等を編集して使用可能。アプリのバージョンアップ等の変更が生じた場合は、管理担当が都度修正するため、各講座では講師によらず最新の講座資料となり、質が担保され、資料作成の効率化ができ、より多くの講座開催が可能になる。

* スマホ・サポーター養成講座

今回参加された川西市と伊丹市の受講者による各地元での高齢者のスマホ講座や相談カフェの開催が期待される。今後は、川西市（社会福祉協議会）と伊丹市（市立中央公民館）が窓口になり、受講生の学んだ後の活躍の場作りが当NPO、後援自治体、各種団体と進むことが期待される。

特に、伊丹市は北部（きららホール）と南部（ラストホール）でも同様のサポーター養成講座を開催して欲しいという依頼があり、今後の展開を期待する。

< 収支決算書 >

（収入）

項 目	金 額（円）
地域づくり活動 NPO 事業助成金	473,000
自己資金	191
合計	473,191

（支出）

区分	項 目	金 額（円）	左のうち 助成対象金額（円）
直接 経費	アルバイト賃金	144,774	144,774
	教材作成人件費	116,938	116,938
	教材編集会議人件費	105,783	105,783
	その他（旅費交通費等）	105,241	105,241
	小 計	472,691	472,691
	間接経費（一般管理費）	500	309
	合 計	473,191	473,000